

2020年スイス日本語教師の会 秋のセミナー 会員発表

明日から使える授業のヒント

ロース・牧野 泰子

ロース・牧野泰子のスイスでの日本語教師としての経験

教えた学校	期間	授業形態	その他の活動
Institut für aktives Lernen (活動的に学ぶ学校) Zug	1991～ 2007	少人数グループ 20人前後のクラス 企業内授業	1993 スイス日本語教師の会設立 ～2001まで会の役員 網の目文庫を考案
ASIA INTENSIV Schule für moderne asiatische Sprachen, Dr.Heinrich Reinfried (アジア現代語学院) Zürich	1996～ 2020	個人教授 対象学習者： 主に社会人	1997国際交流基金 在外邦人教師研修参加
Volkshochschule des Kantons Zürich (チューリヒ市民大学講座)	1999～ 2005		2003ベルンでのAJE-ヨーロッパ 日本語教師会シンポジウム実行委員
HM'z Handels- und Managementschule (ビジネススクール) Zug	2007～ 2009		2009～2011 AJE-ヨーロッパ日本語教師会 役員
学校から企業へ出張授業	数回		スイスでセミナー受講 春：26/27回、秋：16/24回

発表内容

テーマ1：日本語の音に慣れさせ、ローマ字の読み方と発音を指導

- ・ アルファベットを使う言語には様々な発音とイントネーションがあるため、ローマ字の読み方に学習者の母語が影響する
- ・ ローマ字は日本語の音韻で読むことを形容詞のリストを使って分からせる。その後、写真を見て自分の考えを言う練習をする
- ・ 教科書のあいさつの言葉のCDを使い、ローマ字の読み方と発音の練習もできる
- ・ ローマ字はパソコンで和文入力するときにも使うので、日本語の発音とローマ字の対応を知っていることが大事

テーマ2：日本語の基本文型の骨組みを理解させる

- ・ -aru/ iru の構文表を使って、自分で文を組み立てる練習
- ・ 動詞の活用表で日本語の動詞のシステムを教える
- ・ « Verb forms V1-V7 and verbal suffixes » を使い、自立的に文を作る

テーマ3：話す下地にする作文の指導

- ・ ショートストーリー漫画「長井道範」を見て自由に作文させる
生徒の作文例（初級、初級後半、中級前半、上級前半）
- ・ イラストの「わたしは7じにおきます」を見て、作文をさせる

日本語教師にお薦めする本

3

い形容詞 Verbaladjektive mit i-Endung

«affirmative Form»

aka-i	あかい	rot, --te,, --er, --es
ao-i	あおい	blau
kuro-i	くろい	schwarz
shiro-i	しろい	weiss

ooki-i	おおきい	gross
chiisa-i	ちいさい	klein

omo-i	おもい	schwer (Gewicht)
karu-i	かるい	leicht (Gewicht)

kawai-i	かわいい	herzig, niedlich
kowa-i	こわい	furchterregend

oishi-i	おいしい	wohlschmeckend, lecker
mazu-i	まずい	schlecht schmeckend
kusa-i	くさい	stinkend

i-i / yo-i	いい／よい	gut (nicht für Geschmack)
waru-i	わるい	schlecht (nicht für Geschmack)

«negative Form»

aka-kunai	nicht rot
ao-kunai	nicht blau

ooki-kunai	nicht gross
------------	-------------

omo-kunai	nicht schwer
-----------	--------------

kawai-kunai	nicht herzig
-------------	--------------

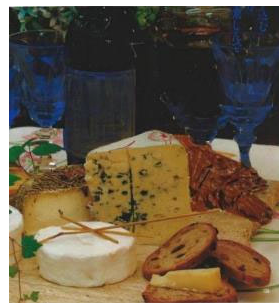
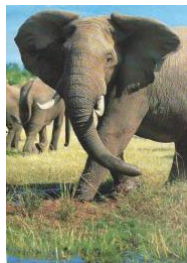
oishi-kunai	nicht gut schmeckend
mazu-kunai	nicht schlecht schmeckend

yo-kunai	nicht gut
----------	-----------

*実際の授業ではA4判の裏表に形容詞64語を書いたプリントを渡し、2回に分けて導入する。対応する写真教材で発言を促す。
*このプリントは後から教える連体形、否定形、過去形、過去否定形などの説明でも使うので、生徒にファイルさせておく。

4

形容詞の写真教材例



5

ローマ字の正しい読み方を教える必要性

- アルファベットを使う言語は多くあり、言語によって様々な発音とイントネーションがあるため、ローマ字の読み方に学習者の母語が影響する。例えば、日本の会社名「日立」のローマ字表記「HITACHI」の言語別の読み方は：ドイツ語は「ヒターヒ」、フランス語は「イダシー」、イタリア語は「イターキ」、英語では「ヒテイチ」になる。
- ローマ字は「日本語の音声」をアルファベットで書いたものであること、子音と母音の組み合わせで日本語の音声を表しており、「HITACHIはヒタチ」と読むことを学習者によく分からせることが重要。
- 学習段階が進んで、自分が耳にした日本語を辞書で調べる時にも、ローマ字の正しい綴りが分からないと困る。
- 日本語の文字を学習して、パソコンで和文を書く時のローマ字入力にも正しい綴りが必要になる。

螺旋状に段階的に進めていく指導法

- 一つの学習項目を導入する時、一度だけ説明して生徒が理解したと思うのは間違いで、教師は同じ項目を少し形を変えて何度も説明する必要がある。
- 先の形容詞のリストや動詞の活用表や構文表は生徒に保存させておき、次の学習段階にも使い、同じ項目の続きと分らせる。
- 例えば、初級の時にローマ字で書いた作文を、後から和文に直させるのも一つの方法。学習者自身にも進歩のあとが実感できるはず。

6

日本語の基本文型の骨組を理解させるために

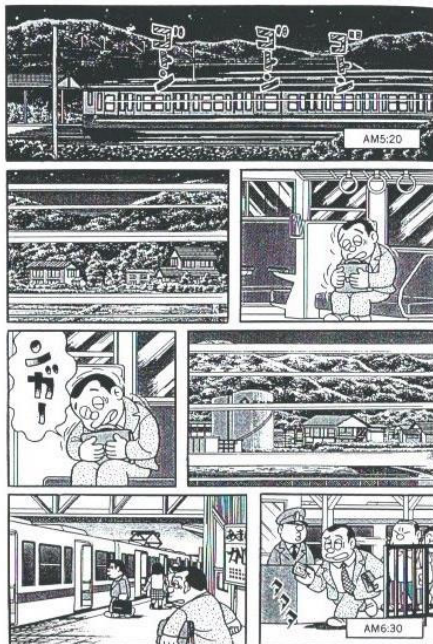
- ・ 日本語の基本文型の語順が S.O.V.(主語、目的語、動詞)でヨーロッパ言語 S.V.O. と違うことが、スイスの学習者にとっては分かりにくいので、自分で文を作ることが難しい。
- ・ 別紙の参考資料1と2の構文表は学習者が視覚的に把握できるように考えられている。
- ・ 初級の早い段階で、この構文表と付随している語彙リストを使って、学習者が自分の考えで文を組み立てることができるように指導する。これ以外の文型も同じ方式の構文表がある。
- ・ さらに状況がわかりやすい写真教材を見せて発話を促すと効果的。

日本語の動詞の活用表について

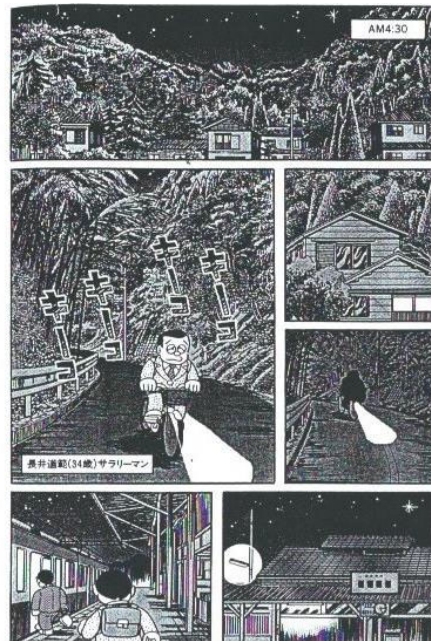
- ・ まず、日本語の動詞は非常に分かりやすく構築されていることを、教師がはっきり理解していることが重要。
- ・ 学習の早い段階で、別紙の参考資料3の活用表で日本語の動詞の全体像を見せて、学習者が先行きの勉強を予測できるようにしておく、自律的な学習に役立つ。
特に、辞書形をはじめに導入しておく、自分で言いたい動詞を辞書で引いて、ます形、ない形などを作ることができる。
- ・ 一般の教科書では動詞の文型ごとに例文を出し、動詞の形を少しずつ教えていくことが多いが、それだと学習者はいつになったら自分が言いたいことが自由に言えるようになるのか、予測が付きにくい。
- ・ この活用表と別紙の参考資料4と5の«Verb forms V1-V7 and verbal suffixes»(動詞の語幹と語尾) のリストを道具のように使って、自律的に文を作るように指導する。

7

『長井道範』のショートストーリー漫画を作文の材料として使う



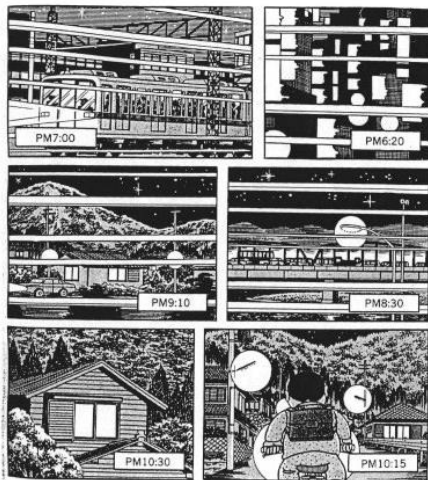
2



1

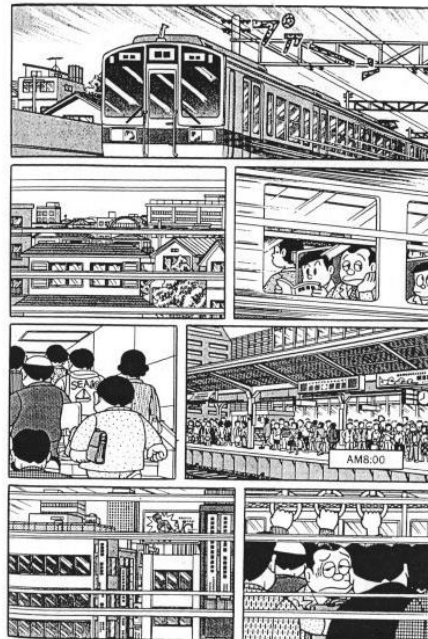
8

『長井道範』のショートストーリー漫画つづき



4

Aus:
藤子不二雄 笑うせえるすまん Vol. 3 中央文庫コミック版 1999



3

9

作文の例 : Nagai san no hanashi (初級前半)

Ano tatemono ni dentô ga tsuki-masu. Nagai san wa oki-masu.
Nagai san wa uchi kara eki e iki-masu.
Go-ji jûgo-fun ni eki ni tsuki-masu. Densha ni isoide nori-masu.

Go-ji nijippun ni densha ga shuppatsu shi-masu.
Nagai san wa densha de ne-masu.
Soto wa ima akarui desu. Densha wa inaka o hashiri-masu.
Nagai san wa yoku nemuri-masu.
Roku-ji han ni eki ni tōchaku shi-masu.
Nagai san wa tsugi no densha ni nori-masu.

Densha wa machi o hashiri-masu. Nagai san wa taikutsu desu.
Nagai san wa mado kara soto o mi-masu.
Tonari no kodomo wa manga o yomi-masu. Nagai san wa nanimo yomi-masen.
Machi ni tatemono ga takusan ari-masu.
Densha no naka ni hito ga amari takusan i-masen.
Hachi-ji ni hito ga takusan eki de matte-imasu.

10

作文の例：『長井さんの一日』（初級後半、何度も休暇で日本へ行った人）

山の村の夜は静かで暗いです。あの村に長井さんは住んでいました。
長井さんはサラリーマンで、大きい都市で働いていました。
毎日、4時半に起きました。自転車で駅まで行きました。
駅で普通に乗りました。
5時20分から6時30分まで電車で眠りました。
6時半に着いて、乗り換えました。

そして、日が出て、明るくなりました。8時ごろ、都市に着きました。
電車を降りて、普通に乘って、働きに行きました。

夕方、6時20分、長井さんはうちに帰りました。
普通に乘って、7時に乗り換えて、8時半にも乗り換えて、10時15分に村に着きました。
その間に日が暮れて、暗くなりました。
そして、長井さんは自転車で家へ帰って、10時半に家に着きました。

このように、長井さんは本当に長い一日がありました。
あまり休みがないと思いました。

11

作文の例：『長井さんの生活』（中級前半、スイス人で中国語教師、日本語も習い来日経験あり）

日本の大阪の方に星山という小さい村があります。
星山にいろいろな建物があって、長井さん一家の一戸建てもあります
長井一家は四人で、長井道範は34歳のサラリーマンです。

長井道範の生活は大変です。
毎朝4時半に起きなければならなくて、古い自転車で10キロぐらいの町に行きます。
その小さい町の駅から電車で1時間ぐらいほかの町へ乗って行きます。
ここから大阪まで、ほかの電車でも1時間30分ぐらいかかります。
大阪駅に着いてから、地下鉄に乗って、9時ぐらいに会社に着きます。

長井さんは残業の時間がありません。仕事が終わってからも忙しいです。
毎晩10時半ごろ着くと、息子と娘はもう寝ています。
長井さんは奥さんが作った晩御飯を食べてからお風呂に入ります。
もしお風呂で眠ったら、奥さんは長井さんを起こします。
「早く寝なければなりません！ あした早く起きなければなりませんよ！」。
長井さんは可哀相です！

12

作文の例：『サラリーマンの厳しい生活』（上級前半、日本での駐在経験あり）

長井さんは家族と一緒に町から遠い田舎に住んでいます。小さい SEKISUI プレハブ住宅を持っています。住宅や土地の値段は田舎は町より安いので、SEKISUI プレハブ住宅が買えました。

毎朝、午前 4 時 30 分に起きなければならなくて、自転車で駅まで走って行きます。長井さんの自転車はたいへん古いので、キーコ、キーコ と音がします。大きい住宅ローンがありますから、新しいのが買えません。夜空に星が輝いているのに長井さんはぜんぜん見ません。道路は真っ暗だし敵愾心いっぱいです。

午前 5 時 20 分の一番早い電車に乗らなければなりません。周辺の家ではまだ人が寝ています。電車の中で長井さんは座ってもう一時間眠れます。6 時 30 分に急いで、機械的にほかの線に乗り換えらなければならなくて、乗った電車に時々座席を見つけられます。

けれども、次の乗り換えはもっと大変です。地下鉄の駅で何百人もの人が電車を待っています。ですから、長井さんは一時間以上地下鉄に乗っているあいだ立っていなければなりません。たいへん込んでいるので駅ごとにたくさん人が降りたり、乗ったりするたびに、長井さんは押されて、洋服と髪を引っ張られて、足を踏まれています。かわいそうですね。

8 時 15 分に事務所のそばの地下鉄の駅に着きます。8 時 30 分についに事務所に着きます。やっぱり毎朝の体操はあまり楽しみません。働く時間は午後 6 時 20 分までなのに長井さんは頑張ります。運よく長井さんは部長ではなくて、会議のあいだに少し寝られます。

13

『わたしは7じにおきます』 イラストを見て話してから作文をさせる。言ったことを定着させるため。



①おきる ②かみを あらう ③あさごはんを たべる ④がっこうに いく ⑤じゅぎょうが はじまる ⑥ひるごはんを たべる
⑦およく ⑧うちに かえる ⑨そうじを する ⑩ばんごはんを たべる ⑪おさらを あらう ⑫おんがくを きく ⑬ねる

『わたしは7じにおきます』 宿題/ドイツ語

*ドイツ語の分からない方にはGoogle Translate の利用をお勧めします

宿題「わたしは7じにおきます。」

Quiz: Tragen Sie die Nummern der Bilder hinter den dazu passenden Sätze ein.

Aufgabe 1: Übersetzen Sie folgende Sätze ins Japanisch.

Aufgabe 2: Schreiben Sie Ihren Tagesablauf.

1. Ich bin eine Gymnastin in Japan. Ich bin 16 Jahr alt.
2. Jeden Morgen um 7 Uhr stehe ich auf.
3. Um 7 Uhr 15 wasche ich mir die Haare.
4. Um 7 Uhr 45 esse ich das Frühstück.
5. Ich esse Brot, Salat, Ei und Würste. Ich trinke kein Kaffee. Ich trinke Milch.
6. Um 8 Uhr fahre ich mit dem Fahrrad zur Schule. Mein Fahrrad ist alt.
7. Um 8Uhr 30 beginnt der Unterricht.
8. Das Lernen / Studium ist schwierig. Die Lehrerin ist sehr freundlich.
9. Um 12 Uhr 30 nehme ich zusammen mit meiner Freundin das Mittagessen ein. Jeden Tag esse ich eine Lunchbox.
10. Um 3 Uhr 30 schwimme ich im Schwimmbad der Schule. Das Schwimmbad der Schule ist neu.
11. Um 5 Uhr nachmittags gehe ich nach Hause zurück.
12. Um 6 Uhr reinige ich mein Zimmer mit dem Staubsauger.
13. Um 7 Uhr nehme ich zusammen mit meiner Familie das Abendessen ein.
14. Mein Vater trinkt kein Sake. Das Essen meiner Mutter ist immer gut (lecker).
15. Um 8 Uhr wasche ich das Geschirr mit meinem jüngeren Bruder.
16. Um 9 Uhr höre ich Musik im meinem Zimmer. Ich höre manchmal französische Lieder.
17. Um 11 Uhr gehe ich schlafen. Manchmal träume ich.

Gymnastin/in:こうこうせい、Brot:パン、Salat:サラダ、Ei:たまご、Würste:ソーセージ

Lunchbox:お弁当、Schwimmbad:プール、mit dem Staubsauger:そうじきで

Essen meiner Mutter:ははのりょうり、französische Lieder シャンソン、träumen:ゆめをみる

15

日本語教師にお薦めする本

▶は私の個人的意見

金田一春彦「日本語 新版 上・下」

日本語の言語学的特徴を発音、語彙、表記法、文法など、あらゆる角度から考察して、その面白さや素晴らしさ、また欠点を具体的に解明している。外来語の増大やワープロ普及による変化も考察。

▶すぐ授業に役立つ内容ではないが、日本語についての基礎知識を得るのに有用。

岩波新書1993 ISBN4-00-43002-9, ISBN4-00-43003-7 各 ¥620

荒川洋平「日本語という外国語」

著者は外国人に長年にわたり日本語を教えた経験から、語学に関わる興味深い考えを述べている。母語である日本語を客観的に見直すのに役立つ。

▶外国人に日本語の文法を教える場合、日本人が学ぶ文法体系と異なる文法を教示するなど、実戦に即した話が多く参考になる。講談社現代新書 2009 ISBN-10: 406288013X ¥880 電子本Kindleもある

鈴木孝夫「閉ざされた言語・日本語の世界」増補新版

言語社会学の見地から日本語を世界のコンテクスト（文脈/状況）に置いて考え直してみる。日本語が世界の言語の中で一番難しい、西欧の言語に劣っていると考えている日本人が多いが、それは世界の実情を知らない幻想だ。国際的に正当な比例感覚と、価値評価規準の多元化が大事。

▶新しい知識が得られ、物の見方が変わり、とても参考になった。一読を強く薦める。初版が出てから45年経た今でも基本的には不変の論考で、豊富な具体例での説明があり面白い。超ロングセラー。

新潮選書 初版1975、補訂版2017 ISBN-13:978-4106037979 ¥1430、電子本Kindleもある

鈴木孝夫「ことばと文化」

英米の言語と日本語の語彙の意味を比較してみると、それぞれの言語の背景にある思考感覚と文化の違いがある。この視点から言葉を分析すると理解しやすい。

▶47年前に書かれたので古臭い点もあるが、基礎知識として有用。

岩波新書 1973 ISBN-10:4004120985 ¥792、電子本Kindle、英訳もある

«Words in context» A Japanese Perspective on Language and Culture” 1984 revised

講談社インターナショナル ISBN4-7700-1142-3 ¥1300+税

16

鈴木孝夫「日本の感性が世界を変える」言語生態学的文明論

外国人が日本語を使いつけると、いつの間にか柔らかに相手を立てる人になる「タタミゼ効果」の不思議さや、漢字に秘められた意外な力、江戸時代の持続可能社会などを見直し、小さくとも強靱な日本の感性を文明論として考える。論争より情緒、対決ではなく融和、今こそ、日本文明の出番だ。

新潮選書 2014 ISBN978-4-10-603756-6 ¥1300+税

鈴木孝夫先生が当会へ寄贈して下さった本

「言葉のちから」

世界的な経済大国になった日本が、いまだにアメリカの属州のような立場を取り、欧米文化を偏重している。そして、日本の文化や言語を世界に広めて国際相互理解を進めようとする意識が低い。日本人は自国の歴史と文化に誇りを持つべきだ。日本から発信する力をつけるために、英語教育の改革が必要。

▶全面的には賛同しないが、示唆に富む内容で、考える刺激を受けた。

(2003年出版の「アメリカを知るための英語、アメリカから離れるための英語」の改訂版)

文春文庫 2006 ISBN4-16-767997-3 ¥534E

「アメリカを知るための英語、アメリカから離れるための英語」

「言葉のちから」の前身。二流三流のアメリカ人になるための英語など百害あって一利なし、日本人として主体的に発信できる国際英語を身につけ、同時に日本語の普及も進めよ、という言語政策の提唱。

▶講演をまとめた本で、内容は他の著書と重複した話が多い。

文藝春秋 2003 ISBN4-16-365180-2 ¥1619+税

「日本語教のすすめ」

面白い、深い、美しい。日本語は世界に冠たる大言語である。著者50年の集大成。究極の日本語講座。

▶雑誌掲載をまとめたもので、気軽に読めるが中身は濃い。

新潮新書 2015、6刷 ISBN978-4-10-610333-9 ¥740E

17

副教材で便利だと思う本

わくわく文法リスニング99・耳で学ぶ日本語 ワークシート CD付き

▶教科書で出てきた文法項目を自由に選んで、短い時間で聞き取り練習するのに便利。

「指導の手引き」のスク립トも内容をはっきり分らせるのに役立つ *網の目文庫6

絵でマスター にほんご基本文型85

▶初級の文法や表現を使って、短い文を書いたり話したりさせるのに役立つ *網の目文庫6

毎日の聞き取り50日 初級、中級 CD付き、各上下あり

▶少し長い文章を聞いて、内容をはっきり理解する練習に役立つ *網の目文庫6

教師の虎の巻：ネットに依存しないで使える

電子辞書 Casio Ex-Word me Dataplus10 ▶日本語教師用に便利な内蔵辞書がたくさんある

NHK日本語発音アクセント辞典の音声

和英で日本の文化・観光・歴史辞典、日本歴史大事典、

現代カタカナ語辞典、カタカナで引くスペリング辞典、

経済・ビジネス用語辞典、スポーツ用語辞典

ブリタニカ国際大百科事典、ビジュアル大世界史、百科事典マイペディア、

広辞苑、明鏡国語辞典、新明解国語辞典、新漢語林、角川類語辞典、

俳句歳時記、楷行草筆順字典、など。

英和、和英辞書の他に別売のデータカードで独和、仏和、伊和などの辞書を拡張できる、など。

日本文学2000作品、世界文学1000作品、ビジュアル・ワイド日本の城、人形町らくだ亭落語、ラジオ体操など。

18

Do you have air-conditioning in your room? I have ... / There is ... / There are ...

anata	no	apaato	ni wa	eakon	ga		ari masu	ka.	
7		6	5	4	3	2	1		
topic				comment					
sensei ...	no	heya daigaku gakkô machi kuruma kaisha uchi	ni	Insert adjectives here	subject		+ negation	cf. voc 1 - 12	ka. ga ...
					takusan	ari masu mashita atte... (+ 2nd sentence)			
					ga	ari masen masen deshita			
					mo	nakute... (+ 2nd sentence)			
Chuurihi ...	no	dôbutsuen bijutsukan suizokukan	ni wa	Insert adjectives here	subject		+ negation	cf. voc 1 - 12	ka. ga ...
					wa	i masu mashita ite... (+ 2nd sentence)			
					ga	i masen masen deshita			
					mo	i nakute... (+ 2nd sentence)			

- Tasks**
- Task 1: Ask you partner about furniture and objects in his/her flat or room.
 - Task 2: Prepare an interview with your teacher about Japan. „Is there ... in Japan?“
 - Task 3: Ask your partner if there is ... in his/her town.
 - Task 4: Ask your teacher if there are any (... animals) in Japan.
 - Task 5: In your company or school, do you have any
 - Task 6: Ask questions about travel destinations: Were there ... in ... ?

1 (I) have ... / There is ... / There are ...

- 1) ari masu (V3: aru) (I) have, there is, there are (inanimate objects)
- 2) ari mashita I had / there were
- 3) atte... I had and ... There were and ... (suspensive form)
The suspensive form is used to lead over to the following sentence.
- 4) ari masen I don't have ... There are no ...
- 5) ari masen deshita I did not have any ... There were no ...
- 6) nakute ... There aren't any and ... (suspensive form)
- 7) i masu (V3: iru) be, exist (animate objects)
- 8) ite ... exist and ... (suspensive form)
- 9) i mashita was, existed (animated objects)
- 10) i masen is not (animated objects)
- 11) i masen deshita was not (animated objects)
- 12) i nakute... was not and ... (suspensive form)

1.1 This is how you reply:

- 13) hai, ari masu Yes, I have / there is ...
- 14) iie, ari masen No, I haven't No, there isn't.
- 15) hai, i masu Yes, there is ... (animate objects)

- 16) iie, i masen No, there aren't any ... (animate objects)
- 17) saa, shiri masen. I don't know.
- 18) saa, dô deshô ka. I wonder how that is. (i.e. I don't know)
- 19) zannen desu What a pity!

2 Express extent and amount like this:

- 20) takusan much
- 21) amari (+ Neg.) not too ...
- 22) sukoshi a little, few
- 23) sukoshi shika (+ Neg.) only few, only little
- 24) ôzei numerous (people only)
- 25) zenzen (+ Neg.) none at all, nothing at all
- 26) tama ni sometimes

3 Particles

- 27) ga ari masu / i masu generally require the particle > ga.
- 28) mo also
- 29) wa As to ... (Contrast particle, to be used especially with negations: „There is no X, (... but Y).“

4 Do you have a (...) in your flat / room?

- 30) eakon air-conditioning
- 31) terebi television set
- 32) bideo video
- 33) fakkusu fax machine

34) shiidii pureeyaa	<i>CD-player</i>	79) zô	<i>elephants</i>
35) reizôko	<i>refrigerator</i>	80) kuma	<i>bears</i>
36) denshi renji	<i>microwave</i>	81) shika	<i>deer</i>
37) denwa	<i>telephone</i>	82) higuma	<i>brown bears</i>
38) rusuban denwa	<i>answering machine</i>	83) tsukinowaguma	<i>Asiatic black bears</i>
39) beddo	<i>bed</i>	84) kitsune	<i>foxes</i>
40) sofa	<i>sofa</i>	85) tanuki	<i>raccoon dogs</i>
41) tatami	<i>Tatami-mats</i>	86) semi	<i>cicadas</i>
42) futon	<i>quilted Japanese-style mattress laid out on the floor</i>	87) saru	<i>monkeys</i>
43) hon	<i>books</i>	88) inoshishi	<i>boars</i>
44) neko	<i>cat</i>	4.4 Are there many / few (...) in your company / school?	
45) zasshi	<i>magazines</i>	89) shokudô	<i>canteens</i>
46) gokiburi	<i>cockroaches</i>	90) kaisha'in	<i>employees</i>
47) kumo	<i>spiders</i>	91) gaikokujin	<i>foreigners</i>
48) gomibako	<i>waste-paper basket</i>	92) ryûgakusei	<i>foreign exchange students</i>
49) isu	<i>chair</i>	93) kenshûsei	<i>interns</i>
4.1 Is there (...) /Are there (...) in Japan?		94) ooeru, OL	<i>secretaries („office ladies“)</i>
50) hanabi	<i>fireworks</i>	95) ofisu	<i>offices</i>
51) manga	<i>comics</i>	96) kissaten	<i>coffee shops</i>
52) yakyû no shiai	<i>baseball games</i>	97) joshi gakusei	<i>girl-students</i>
53) yûenchi	<i>amusement parks</i>	98) hito	<i>people</i>
54) yuki	<i>snow</i>	99) gakusei	<i>students</i>
55) ringo	<i>apples</i>	100) kodomo	<i>children</i>
56) umi	<i>sea</i>	101) seito	<i>pupils</i>
57) mizuumi	<i>lakes</i>	5 Particles	
58) eigakan	<i>cinemas</i>	102) ni wa	<i>Particle used to highlight a place name.</i>
59) keshiki	<i>landscape</i>	103) ni	<i>in / into Particle for a place name without need to highlight.</i>
60) mikan	<i>tangerines</i>	104) ni mo	<i>also in ...</i>
61) kareeraisu	<i>rice with curry</i>	6 Pick a place!	
62) kazan	<i>volcanoes</i>	105) apaato	<i>flat, apartment</i>
63) sabaku	<i>deserts</i>	106) heya	<i>room</i>
64) jishin	<i>earthquakes</i>	107) daigaku	<i>university</i>
65) sekiyu	<i>oil, petroleum</i>	108) gakkô	<i>school</i>
66) kaseki	<i>fossils</i>	109) machi	<i>town</i>
4.2 Do you have many/any (...) in your town?		110) kuruma	<i>car</i>
67) byôin	<i>hospitals</i>	111) kaisha	<i>company</i>
68) eigakan	<i>cinemas</i>	112) ie	<i>house</i>
69) suizokukan	<i>aquariums (Zoo)</i>	113) uchi	<i>house</i>
70) hakubutsukan	<i>museums (history, technology)</i>	114) dôbutsuen	<i>zoological garden</i>
71) bijutsukan	<i>museums of fine arts</i>	115) hakubutsukan	<i>museum (general)</i>
72) matsuri	<i>festivals</i>	116) bijutsukan	<i>Museum of Fine Arts</i>
73) suupaa	<i>supermarkets</i>	7 Attributes	
74) kawa	<i>rivers</i>	117) anata no ...	<i>your ...</i>
75) chikatetsu	<i>underground railways</i>	118) sensei no ...	<i>1) the teacher's ... 2) you (when addressing the teacher formally)</i>
76) kôen	<i>parks</i>	119) Chuurihi	<i>... of Zurich</i>
4.3 Do these animals live in Japan / China etc. ?			
77) dôbutsu	<i>animals</i>		
78) panda	<i>giant pandas</i>		

Verben **Gruppe I** auf : -a, -i, -u, -e, -o : Merkmal : V1 und V2 sind nicht identisch

	V1	V2	V3	V4 /Befehlsform	V5	V6	V7	Deutsch
-ku	kaka	kaki	kaku	kake	kakô	kaite	kaita	schreiben
iku	ika	iki	iku	ike	ikô	itte	itta	gehen
-gu	oyoga	oyogi	oyogu	oyoge	oyogô	oyoide	oyoida	schwimmen
-su	hanasa	hanashi	hanasu	hanase	hanasô	hanashite	hanashita	sprechen
-tsu	mata	machi	matsu	mate	matô	matte	matta	warten
-nu	shina	shini	shinu	shine	shinô	shinde	shinda	sterben
-bu	toba	tobi	tobu	tobe	tobô	tonde	tonda	fliegen
-mu	yoma	yomi	yomu	yome	yomô	yonde	yonda	lesen
-ru	nora	nori	noru	nore	norô	notte	notta	einsteigen
-(h)u	kawa	kai	ka(h)u	kae	kaô	katte	katta	kaufen
	+ nai	+ masu	+ koto	+ ba / !	+ to omou	+ kudasai	+ ra	

V1 + reru =Passivform / Höflichkeitsform + seru =Kausativ + sareru / serareru = Kausativ-Passiv (-eru:GrpII)	V4 + ba =Konditional + ru =Können-Modus (-eru: Grp II)
--	--

V7+ ra = Konditional

Verben **Gruppe II** auf : -eru, -iru : Merkmal : V1 und V2 sind identisch

	V1 = V2	V3	V4 / Befehlsform	V5	V6	V7	Deutsch	
-iru	mi mi	miru	mire miro	miyô	mite	mita	sehen	
	ori ori	oriru	orire oriro	oriyô	orite	orita	aussteigen	
	ki ki	kiru	kire kiro	kiyô	kite	kita	anziehen	
-eru	tabe tabe	taberu	tabere tabero	tabeyô	tabete	tabeta	essen	
	ne ne	neru	nerere nero	neyô	nete	neta	schlafen	
	mise mise	miseru	miserere misero	miseyô	misete	miseta	zeigen	
	+ nai	+ masu	+ koto	+ ba	+ !	+ to omou	+ kudasai	+ ra

V1+2 + rareru =Können-Modus =Passivform /Höflichkeitsform + saseru =Kausativ + sase-rareru =Kausativ-Passiv

V4+ba =Konditional

V7+ ra =Konditional

Ausnahmsweise gehören einige Verben mit den Endungsformen **-iru**, **-eru** jedoch zu der Gruppe I, **-ru** Endung.
 z.B.: **kiru** (schneiden), **shiru** (wissen, kennen), **hashiru** (laufen), **hairu** (eintreten)
kaeru (zurückkehren), **heru** (sich vermindern), **keru** (stossen, treten) u.s.w.

Verben **Gruppe III** : kuru, suru : Merkmal: kuru und suru sind die einzigen unregelmässigen Verben

V1	V2	V3	V4 / Befehlsform	V5	V6	V7	Deutsch	
ko	ki	kuru	kure	koi	kite	kita	kommen	
shi	shi	suru	sure	shiro	shite	shita	machen,tun	
	+ nai	+ masu	+ koto	+ ba	+ !	+ to omou	+ kudasai	+ ra

Passivform / Höflichkeitsform	Können-Modus	Kausativ	Kausativ-Passiv	Konditional
kuru: korareru	korareru	kosaseru	kosase-rareru	kureba / kitara
suru: sareru	dekiru	saseru	sase-rareru	sureba / shitara

Verb forms V1 - V7 and verbal suffixes

Grammar

In order to be able to speak Japanese fluently, memorize the meaning of each of the following combinations of **verb forms (V1 - V7) + suffix** and subsequently exercise until you are able to reproduce these sentence structures without hesitation in communicative situations. By learning these structures, you will have acquired a comprehensive repertory of basic components of Japanese sentences which you can use to construct sentences of any length. The most frequently used combinations below constitute the basis of your communicative competence in Japan.

Task

Memorize these combinations with the synoptic tables of sentence structures with the verb forms V1 - V7 in this module as well as the flash cards in module 9.

V = verb from / VG = verb group

V = verb from / VG = verb group

V1

- V1 + nai
negation (informal)
- V1 + nakereba narimasen
must, have to do
- V1 + nakereba narimasen deshita
had to do (past tense)
- V1 + nakute mo ii desu
It is not necessary to do ...
- V1 + nakute mo yokatta desu
It would not have been necessary to do ...
- V1 + nakute yokatta desu
It was right not to do ...
- V1 + nai de kudasai
Please don't ...
- V1 + nai hô ga ii desu
It is better not to do ...
- V1 + nai hô ga yokatta desu
It would have been better not to do ...
- V1 + nai koto ga ari masu
At times, something does not happen ...
- V1 + nai koto ni shi masu
to decide not to do something just this once
- V1 + nai koto ni shite i masu
not to do something as a matter of principle
- V1 + nai yô ni
in order not to ...

V2

- V2 + masu
present tense, affirmative, all persons
- V2 + masen
present tense, negative, all persons
- V2 + mashita
past tense, affirmative, all persons
- V2 + masen deshita
past tense, negative, all persons
- V2 + mashô
Let's ...
- V2 + nasai
imperative directed towards younger persons
- V2 + tai desu
(I) would like to do ... (only 1. /2. sg./pl.)
- V2 + takunai desu
(I) would not want to do (only 1. /2. sg./pl.)

- V2 + tagatte i masu
(He) would like to do (only 3. sg./pl.)
- V2 + tagatte i masen
(She) would not want to do (nur 3. sg./pl.)
- V2 + tagari masu
(They) would always like to do (habit, only 3. sg./pl.)
- V2 + tagari masen
(They) never want to do (habit, only 3. sg./pl.)
- V2 + takute tamari masen
(I) would like to do ... by all means
- V2 + ni iki masu
to go somewhere to do ...
- V2 + ni iki mashô
Let's go and do ...
- V2 + hajime masu
to start doing ...
- V2 + dashi masu
suddenly start with an activity
- V2 + owari masu
to finish doing ...
- V2 + sugi masu
to overdo ...
- V2 + yasui desu
easy to do
- V2 + nikui desu
difficult to do
- V2 + nagara
while doing ...

V3

- V3 (without suffix)
finite form of the verbs (informal)
- V3 + koto ga ari masu
it happens that ...
- V3 + koto wa muzukashii desu
it is difficult to do
- V3+ koto ga deki masu
(you) can do ...
- V3 + no ga suki desu
I like doing
- V3 + no ga kirai desu
I don't like to do ...
- V3 + tsumori desu
intend to do ...

V = verb from / VG = verb group

- V3 + darô to omoi masu
I presume that (he) will do ...
- V3 + darô to wa omoi masen
I do not think that (they) will do ...
- V3 + yô ni shite kudasai
Please see to it that ... does not happen
- V3 + yô ni naru
it came about that ... / things developed in such a way that I ...
- V3 + tokoro desu
to be about to do ...
- V3 + tame ni...
in order to do, (...) (+ 2nd main clause)
- V3 + toki ni...
When (she) does ... (+ 2nd main clause)
- V3 + mae ni...
before they do ... (+ 2nd main clause)
- V3 + no ni
in order to do ... (+ 2nd main clause)
- V3 + koto ni shi masu
I have decided to do ...
- V3 + koto ni shite i masu
(I) do on principle ...
- V3 + yô ni shite i masu
He sees to it that he (always) does ...

V4

- V4 (without suffix)
rude imperative

Conditional (CO)

- CO + ii desu ka
is it advisable to do ... ?
- CO + dô desu ka
How about doing ... ?
- CO + (adj) desu ka
Is it (adj), if one does ... ?
- CO + ii ka oshiete kudasai
Please tell me whether it is OK to do ...
- CO + V3 hodo
the more ... the ...
- CO + yokatta desu
If only I had ...

V5

- V5 (without suffix)
Let's ... (informal invitation)
- V5 (without suffix)
Let's ... (inner monologue, informal expression of the speaker's volition)
- V5 + to omoi masu
intend to do ...
- V5 + to wa omoi masen
not to intend to do ...
- V5 + to shi masu
to be about to do ...
- V5 + to shita toki ni...
when I was about to do ...

V = verb from / VG = verb group

V6

- V6 (without suffix)
do! (informal imperative)
- V6 + kudasai
Please do ... (polite imperative)
- V6 + kudasai masen ka
Wouldn't you please do ...
- V6 + mo ii desu ka
May I do ... ?
- V6 + wa ike masen
It is not allowed to do ...
- V6 + itadake masen ka
Wouldn't you please do me a favour by doing ...
- V6 + i masu
(They) are doing ...
- V6 + i masen
(He) is not doing ...
- V6 + yokatta to omoi masu
(I) think it was good to do ...
- V6 + yokatta to wa omoi masen
I certainly do not think it was good to do ...
- V6 + mi masu
try to do ...
- V6 + iru tokoro desu
(They) were just doing ...
- V6 + kure masu
(He) does something for me (i.e. the speaker)
- V6 + kara + (2nd sentence)
After having done ..., one does ...

V7

- V7 (without suffix)
past tense (informal)
- V7 + koto ga ari masu
(They) have done ... before
- V7 + koto ga ari masen
(I) have not yet done ...
- V7 + hô ga ii desu
(you) had better do ...
- V7 + ka dô ka shirimasen
I don't know whether (they) have done ...
- V7 + ka dô ka oboete i masen
(I) don't remember if (I) have done ... before.
- V7 + ka mo shiremasen
perhaps done ...
- V7 + rashii desu
it looks as if ... had been done.
- V7 + bakari desu
(I) have only just done ...
- V7 + ra dô desu ka
How about
- V7 + ri + V7 + ri shi masu.
to such things as ...
- V7 + tokoro desu
as I was just doing ...